

# ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 38



～友愛と 互助と平和が 永遠に～

<http://hb8.seikyou.ne.jp/home/pianomed/>

2008年初頭、「世界を股にかけて活躍した郷土の偉人」の本が、再び発刊されるというニュースが新聞で紹介されていた。

まず、その方が描いた絵画を紹介したい。図1をじっくりと鑑賞していただきたいと思う。

「空の鳥を見よ

野の百合を見よ

1949.1.25 豊彦  
伊ヨ・川上」

とある。動植物を優しい眼差しで見守る、ほのぼのとした心が伝わってこないだらうか。

このキャンバスは、135cmx70cmという比較的大きなもの。私の知り合いの医師で徳島在住の中西昭憲先生が所有し、クリニックの診察室にゆつたりと掲げられている。

## 賀川豊彦氏の活動

郷土の偉人とは、社会活動家として諸外国で広く知られる賀川豊彦氏（1888～1960）である（図2）。豊彦は現鳴門市大麻町で育ち、徳島中学を卒業。



図1

その後、洗礼を受け、神戸神学校在学中に、結核のため数度死の淵をさまようことに。病苦の中でも、人々への救済事業で生きた証立てようと、神戸のスラム街での活動を続けた。その後米国に留学して幅広く学び、帰國後労働運動などの先頭に立ち、大正デモクラシーの機運を盛り上げたのである。

ある「死線を越えて」がある（図3）。このたび再版されることになった。また、同名の映画が徳島でも上映されたことがある（図3）。



図2



図3

表1 賀川豊彦の業績と展開

・布教活動	イエスの友会、新日本建設キリスト運動
・幼児教育	幼稚園、保育園
・救済事業	協同牛乳、国民栄養協会、松沢資料館中ノ郷信用組合 結核予防協会(白十字会)、日本救護協会、中野総合病院
・労働運動	全日本民間労働組合連合会、日本社会党、日本禁酒同盟
・農民運動	農業協同組合、漁業組合、リズム時計、雪印乳業、高崎ハム
・協同組合	生活協同組合、東京医療生協、大学生協、日本生活協同組合連合会
・保健共済	国民健康保険、生命保険、漁船保健、労働金庫、共栄火災海上保険
・平和運動	世界国家、国際平和協会
・著 作	基督伝説争史、死線を越えて、一粒の麦、宇宙の目的 キリスト新聞社、雑誌「雲の柱」、論文、小説、童話、詩、隨筆、他

## 世界的な業績

賀川は米国で数多くの講演活動もこなし、社会活動家として高く評価されていた。戦後占領軍司令官マッカーサーに早期から意見を求められほどだ。1960年ノーベル平和賞候補にも推薦された。しかし、同年世田谷区松沢の自宅で病没。享年72歳であった。

氏の活動は多岐にわたり、いずれの領域でも、歴史的な大きく展開している。筆者が表1と表2とにまとめた。概要を把握するのに、

参考にされたい。

なお、賀川に関わる縁の品々は松沢資料館に收められている。また、関係者の協力により、2002年「鳴門市賀川豊彦記念館」が設立された。

## 多数の蔵書を寄付

賀川豊彦の生誕100年を区切りとして、「多くの人々に、氏の業績を知つてもらいたい」と、40年がかりで収集した賀川の著作や論文など133点が、徳島県立図書館に寄贈された。

図4のように、賀川から直接洗礼を受けた板東公

(ただし) 氏が、芝正裕館長に手渡した。このニュースは、読売、朝日、毎日、徳島新聞各紙で紹介される。

## ボランティアリズム

古く歴史を振り返つてみると、本来、「宗教、医療、音楽」の3者は

一体化していたと言える。

西欧でも日本でも、宗教的な施設で病人の看護が始まった。图6には、660年頃フランスのパリにあった看護施設「オテル・デュ」を示す。



## 賀川豊彦の心知つて 元教諭が蔵書寄付

県立図書館

図4

音楽」の3者は  
一体化していた  
と言える。  
西欧でも日本  
でも、宗教的な  
施設で病人の看  
護が始まった。  
图6には、660  
年頃フランスの  
パリにあった看  
護施設「オテル  
・デュ」を示す。

綴りは hotel だが、



図5

(板東浩、ばんじゅうひろし、  
医学博士、糖尿病専門医、  
ピアニスト)

表2 賀川豊彦の文献の集計

カテゴリー	海外	日本
発行されている国	55カ国	1カ国
発行言語	41カ国	1カ国
賀川豊彦著作(日本語にない)	620冊	326冊
賀川豊彦著作(日本語のみ)	2291冊	4783点
賀川豊彦著作翻訳書(重訳含む)	2927点	2927点
賀川豊彦逐次刊行物掲載分 (連載は1点とした)	1302冊	62冊
賀川豊彦伝記書	6292点	1629点
参考文献(合編書類・逐次刊行物) (連載は1点とした)	7980冊	3241冊
賀川豊彦に言及した主要関係文献 本文の見出し(小・中・大項目)に 賀川豊彦と記載されているもの		

(板東浩、徳島大学医学部・青藍会

会報51号から引用)

に(1988年  
7月、図5)。

この寄贈によつて、同  
図書館では、賀川が残し  
た著書の約半数が揃い、  
その後に引き続いた記  
念館設立運動に対しても、  
大きな力になつたと思  
われる。

聖徳太子が建立した。伝承によると、太子は四天王寺に「四箇院(しかいん)」を設置。すなわち、敬田院(寺院)、施薬院と療病院(現代の薬草園および薬局・病院に相当)、悲田院(患者や身よりのない老人を介護する社会福祉施設)の4施設である。

このように、人を助ける  
という意味では、宗教も医  
療も同じ根から生まれてい  
る。これらに共通するスピ  
リットは何だろうか。

一般に、ボランティア活動と呼ばれているが、自発的な気持ちで人のために「させていただく」というボランティアリズムが大切な概念といえよう。

豊彦は強靭な精神力で活動し、世界に大きな足跡を残した。一方、我々は豊彦の100分の1ほどでもよい、可能な範囲内で人のために尽くし、お役にたちたいものである。



図6